

平成24年度 中日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会 議事要旨

1. 日時：平成25年1月29日 13:00～15:00

2. 場所：中日本高速道路株式会社 8F会議室

3. 出席委員：林委員長、伊藤委員、奥村委員、水尾委員

4. 議事要旨

再評価（原案）の審議

東海北陸自動車道（白鳥～飛騨清見）の再評価（原案）を説明の上審議し、対応方針については原案（事業継続）のとおり了承された。

事後評価（案）の報告

東日本高速道路株式会社及び西日本高速道路株式会社と合同審議を行った、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（八王子JCT～あきる野）、近畿自動車道 名古屋神戸線（亀山JCT～甲賀土山）の事後評価（案）の結果を報告した。

主な意見

- ・東海北陸自動車道は、北陸と中部を直接で結ぶ重要なルートであるが、対面通行区間を有していることもあり、事故により通行止めが非常に多いという印象があります。当該区間も含め、暫定2車線区間については、早期に4車線化することが望ましい。
- ・高速道路整備の効果は、物流への貢献の他、気象変化による交通障害に対する代替性や、インバウンド効果なども期待される。

以上